

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

|              |            |
|--------------|------------|
| 共同建替え部会      | 10月 22日(火) |
| コーポラティブハウス部会 | 10月 30日(水) |
| 団地・マンション再生部会 | 10月 10日(木) |
| 人と暮らし部会      | 10月 29日(火) |
| 総務部会         |            |
| 広報部会         |            |

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆プロジェクトニュース☆

・コーポラティブハウス羽根木公園

引き続き参加者募集中です。解体工事も進み、11月からは新築工事に着手する予定です。どなたかご関心のあるお知り合いがいらっしゃいましたらご紹介ください。

日本マンション学会からのお知らせ  
マンションコミュニティシンポジウム開催

としまち研で事務局を担当している(一社)日本マンション学会が、10月19日(土)明海大学浦安キャンパスにて、『マンションにコミュニティは必要か?どうすべきか?—災害時・復興にコミュニティは機能したのか?!今、必要なこと—』というテーマでシンポジウムを開催します。

ご興味のある方は、日本マンション学会のホームページ(http://www.jicl.or.jp/)上に案内及び申込書をアップしていますので、そちらから事前にお申し込みください。

ご不明な点がございましたら、日本マンション学会事務局(TEL:03-6206-4668)までお問い合わせください。

お申込みお待ちしております。

としまち研会員の山田絵美さんが山本直さんと結婚しました

二人がこれまでかかわってこられたご友人はもとより、山本さんの仕事の関係で知り合った新潟、石巻、伊吹島から大勢の方が会場準備、収穫直後の新潟コシヒカリほかのもてなし料理、そして民家を彷彿とさせるウエディングケーキなどなど、山本さん・山田さんと会場に集った人々との関係が目に浮かぶ、心のこもった手作りの結婚パーティでした。末永くお幸せに。(としまち研理事 杉山洋子)



編集後記

ほんとに今年の夏は暑かったですね。毎日のテレビの高温情報が、よけいに暑さを助長していたような気がするのは私だけでしょうか。

皆さん、9月までのNHKの朝ドラ「あまちゃん」は観てましたか。これまでは、事務所内で朝ドラの話をするのは杉山さんと私だけだったのですが、「あまちゃん」に限ってなのか…所内の視聴率が高かったです(東松島でも観てました)。びっくりしたのは、てっちゃん(杉山さんのお孫さん・5歳)が事務所に来て、あの「潮騒のメモリー」を歌っていたこと…。朝ドラ恐るべしです!(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階  
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326  
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/  
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数  
正会員 66人 賛助会員 32人  
編集発行人 平石郁夫  
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第65号

おいらのまち

2013.9

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

東矢本駅北地区まちづくり整備協議会の活動報告

協議会では、区画決定ルール検討部会が中心になって、これまでに検討し決定していた防災集団移転先への「区画決定の進め方」に従って、取り組みを開始しました。

区画決めは、できるだけ協議会員がどこに住みたいという希望を実現することを基本とし、新しいまちの新しいコミュニティではあるものの、移転後も近くに住みたい人とのグループでの移転申し込みができるようにしました。

区画を抽選などの方法で一気に決めるのではなく、273区画を各20区画前後の14ブロックに分け、各世帯には、まずはブロックに所属してもらって、その上で区画を決めていくという手法です。

現在14ブロック中4ブロックで希望世帯が超過しており、9月29日(日)に超過した4ブロックに希望登録した世帯が全員集合。「ブロック調整会」を行いました。



ブロック調整会 抽選の様子

結果、20世帯強がまだ所属ブロックが決まらず、次の手順に入るようになります。

協議会は、この区画決め動きと並行して、①街並み検討部会の新しいまちの「街並みルール」の検討 ②災害公営住宅部会の本格的な取り組み開始 ③研修・イベント部会での10月12日(土)の被災者復興支援音楽祭やその他講師を迎えての研修会の企画 ④宅地・公共施設検討部会の10月からの公共施設に関する検討開始 ⑤広報部会の「まちづくり通信」の編集・発行、など幅広い取り組みを行っています。

これらの活動支援に関心のある方、ご一報願います。

(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

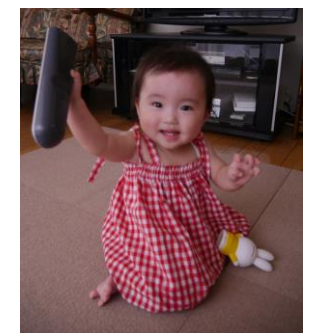
『仕事復帰にあたって』としまち研 五十嵐敦子

娘、知世(ともよ)が生まれて早一年を迎えます。としまち研の事務局にも10月から復帰させていただく予定です。

育児休暇、振りかえればあっという間でした。最初の数ヶ月は、昼夜こどもとひたすら向き合う日々でしたが、その後は家よりも外に出て、近くの児童館、子育て支援施設、イベントやワークショップに娘とともに参加し、地域住民として過ごした時間でもありました。

月並みですが一人では子育てはできない、たくさんのひとが地域でそうしてつながりを求めていること、ちょっとしたきっかけで環境や年齢を越えて新しい関係が築けて心が安らぐこと、地域で肩の力を抜いてひとと交わって暮らすことを私自身が実際体験する機会ともなりました。

育児休暇を経て、やはり自分にできるまちづくりの仕事をしたいという思いを新たに、またとしまち研事務局でがんばりたいと思います。時間的制約等も多い中、いろいろとご迷惑をおかけしてしまうことも多いかと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



あまちゃんの主題歌でリズムに乗るのが最近のブームです

※次号の『ひとりごと』は杉山洋子さんです。お楽しみに。

一木会ご報告（原則、毎月第一木曜日にCOMS HOUSEで行う勉強会・交流会です）

★第217回一木会（2013.9.5）

ジュリアーノナカニシ氏に、フランスの素朴な美しい村を厳選し紹介する「フランスで最も美しい村」活動に範をとり、失ったら二度と取り戻せない日本の農山村の景観・文化を守る活動として「日本で最も美しい村」連合の取り組みのお話をいただきました。

ナカニシ氏が中心になって発行している機関紙「美しい村新聞」は、約50の連合加盟村に残るほんとうに美しい日本の断片を、デザインの視点で取材しています。取材した映像の美しさに参加者一同感動。「過疎化が進行する・・・」とだけ定義しない新しい視点での農産魚村を垣間見ることができました。



今後の一木会予定

★10月（10月3日）【第218回一木会】★

日本大学経済学部教授 沼尾 波子 氏 「少子高齢社会における地域ケアの課題」

★11月（11月7日）【第219回一木会】★

としまち研理事/団地・マンション再生部会長 市野 恵司 氏 「みんなでつくる震災時活動マニュアル」

公開勉強会（第217回一木会）開催報告

8月1日（木）18時30分から、としまち研活動の原点である公開勉強会を、千代田区淡路町の再開発ビルにできたワテラス3階コモンホールにて、久しぶりに開催しました。参加者は140名超となり、会場はいっぱいになりました。

今回のテーマは、『東日本大震災・復興まちづくりの現状～被災地からの声を聞き、住民主体の復興を考える～』であり、一般社団法人淡路エリアマネジメント、NPO コーポラティブハウス全国推進協議会（通称コープ協）、としまち研の共催で行いました。

最初の講演は、コープ協理事長であり、日本建築士会連合会名誉会長である建築家の藤本昌也氏。藤本先生からは、「もの、まち、くらしづくりの視点から考える 復興住まい・まちづくり」と題し、自らの設計論と、豊富な実践を通して復興まちづくりへの大切な視点をご提示いただきました。

続いて、としまち研が事務局を務める東矢本駅北地区まちづくり整備協議会（宮城県東松島市）会長の小野竹一氏に、「3.11 東日本大震災と新しいまちづくりに向けて」のお話をいただきました。震災時の状況、応急仮設住宅での暮らし、みんなを元気づけようイベントを開催した話から、実際の復興まちづくりへの取り組みなど、被災地の実状を語っていただきました。小野会長は、柔和な表情の奥に、集団移転をする約580世帯の住民の代表として、確固たる強い意志を持って復興に取り組まれていることが感じられる素晴らしいお話でした。



受付での特産品等の販売

最後は、としまち研の杉山理事長を進行役に鼎談（ていだん）と会場からの質問に答え、締めくくりに、東松島での復興支援にご協力をいただいている、象地域設計相談役であり、としまち研会員の三浦史郎氏に、「今後に向けて」全体を総括していただき、2時間半のプログラムを終了しました。

被災地への支援ということで、受付では、東松島市から届いたワカメや海苔、仮設住宅で製作されたぬいぐるみ（おのくん）や携帯ストラップ（おしゃねご）などの販売も行いました。

被災地の現状は厳しく、課題も山積していますが、まだまだ復興は続いています。いやこれからが本番です。引き続き、復興支援に関するとしまち研の活動に関心を持っていただくのと同時に、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

（公開勉強会実行委員長/としまち研副理事長 本間充一）



たくさんの方にご参加いただきました

（仮称）九段南コーポラティブハウスⅡ 名称検討始まる

子どもたちにとっては夏休み最後の日曜日となった8月25日、九段南コーポラティブハウスⅡ建設組合は、第6回総会を行い、総会後には久しぶりの懇親会を開催しました。

事前のイベント委員会で、懇親会時のテーマとして、「そろそろ建物名称を検討し始めよう！」ということになり、総会前までに募集をした名称候補を、懇親会にて匿名で披露しました。

集まった名称案は14。複数案出した家族、まだ提案していない家族がいましたが、名称案発表後の1分間スピーチでは、「うちは〇案出しました！」という話になり、まだ提案していないご家族へのプレッシャーをかけている場面もありました。

今回は、これからある程度の時間をかけて、「これだ！」と思える名前を付けようという、いわばデモンストレーションとなりましたが、年末・年始の宿題としてさらに案を考え、年明け、春を待たずに名前が決まればいいな…という皆さんの意思統一はできたように思います。



まずは乾杯!!

（としまち研事務局 飛澤玲奈）

防災対策情報交流会を開催しました

9月23日（月・祝）に千代田区内のコーポラティブハウスにお住まいの方々を対象に、防災対策情報交流会を開催しました。3連休の最終日という貴重な一日にも関わらず、6棟のコーポラティブハウスの防災部会長や理事の方々にご参加いただきました。

当日は、「現在、自分たちのマンションではこんな防災対策をしている」「3.11の時のマンションの様子」さらには、坂の上テラスから防災計画を策定した経験をもとに「防災計画を考える上で難しかったところ」などについてお話ししていただきました。また、会話が進むにつれて、「災害時における区や町会との連携」「防災倉庫の設置場所」「在宅者数が減る日中の震災対応」といった問題意識を見つけ、それぞれの参加者が防災対策への危機意識と今後の課題を持ち帰っていきました。

会の中では、坂の上テラスの防災部会長の方から、自分たちが考えた防災計画を今後の検討の参考にしてくださいと提案していただく場面があり、防災対策の情報交換をきっかけに、コーポラティブハウス同士の交流が期待されます。

防災対策情報交流会は今後も継続していく予定です。この記事をご覧になった千代田区以外のコーポラティブハウスの皆さんや、防災対策に興味があるマンション管理組合のみなさまは是非、次回防災対策情報交流会のご案内をさせていただきますので、事務局にご連絡ください。



今後も交流会を続ける予定です

（としまち研事務局 岩ヶ谷充）

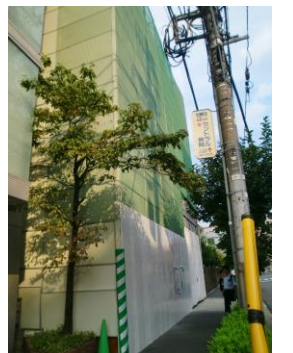
ジークレフ駒場の権利変換計画が認可されました

今年4月に建替組合の設立認可を受け、建替え事業を進めてきたジークレフ駒場で、9月24日（火）、渋谷区長より権利変換計画の認可がされました。

東京都から区に認可権限が委譲されて間もないということもあってか、申請から2ヶ月以上かかってしまいましたが、無事に認可が下りてほっとしています。

8月中旬には既に皆さん仮住まいに引っ越しを終えていましたが、10月1日（火）には権利変換期日を迎え、解体工事が本格的に始まります。工事費高騰の煽りを受け、その調整に苦労しましたが、組合員の皆さんの協力のもと、なんとか前に進むことができそうです。今後、マンション管理についての検討や建物名称の検討が始まりますが、次の節目は12月の解体工事完了・新築工事着工です。完成・引渡しは平成27年2月を予定しています。

（としまち研理事 宮本愛）



仮囲いが完了していました